

- ・2面…庭から広がるまちづくり
- ・3面…「村井弦斎まつり」
- ・6面…老後のための万全対策

特集(4・5面)
わたしたちのセカンドライフ



●発行 平塚市 ●編集 広報・情報政策課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 0463-23-1111 Fax 0463-23-9467
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
●発行部数 99,500部(毎月1日・15日発行)

9月15日は敬老の日 「老い」について考えよう

人が老いるということはどういうことでしょうか。人は人生の中で知識や経験を手にする一方、必ず年老いていきます。それは悲しいことでしょうか。人はみな、人生で得たものを次の世代に伝える役目を担っています。多くの時間を生きてきた者が、その経験を次の世代に伝えていくことは、人が生きる

上でとても大切なことです。そういう意味では、人生を重ねれば重ねるほど、社会における人の役割は重要になっていくといえるでしょう。老いていくにつれて現れる身体能力や思考力の低下については、どう考えたらよいでしょうか。年齢を重ねるとともに、人は様々なハンデキャップを負いま

す。でもそれは、家族や地域社会が支えていくことで必ず克服できることです。「老い」は、だれにとっても、将来必ず降りかかってくるテーマです。老いた者の生活を支えることのできる社会をつくること。それは、やがて訪れる自分の老後を確かなものにしていくことでもあるのです。



わたしは百歳、
毎日元気です

まみや ひろし
間宮 廣さん(明治40年生まれ・100歳、四之宮三丁目)



大切に育てているイチゴを前に娘の間宮勝子さんと

【間宮勝子さんから見た間宮廣さんは】
父は、何しろ考え方が前向きですね。年寄りだからこれくらいいいというのではなく、先へ先へと物事を考えています。料理と洗濯以外の生活はすべて自分でやっています。行きたいところには、バスや電車に乗って一人で出かけてしまいます。今でも自分で参考書を買ってきて、「老後」は何をしようかなんて考えているみたいです。

■地域に飛び出し健康に
これからは元気に長生きをしていかないとけませんね。健康を害すると家族には心配をかけるし、平塚市の財政にも負担がかかるでしょう。最近、70歳とか80歳くらいのまだまだ若い方が外に出て、地域活動などを

■イチゴの世話と研究が日課
百歳になったことで、さすがに目や耳は悪くなりましたが、とにかくいつの間にか百歳になっていたという感じですよ。
わたしは以前、現在の県農業技術センターでサツマイモや落花生の品種改良に携わっていました。40年ほど前に退職してからは庭でミニ菜園を始め、「四季なり性イチゴ」という品種のイチゴを育て、研究してきました。
今、イチゴ作りの方法をまとめているところです。
イチゴ作りは、わたしの人生の目標でもあり、夢でもあるわけですよ。まだまだ課題が多くあって毎回新発見ができる喜びが健康に役立っています。

間宮廣さんに聞きました

長寿の秘けつと健康法

■第二の人生を歩む人へ
これから定年を迎え、第二の人生を歩む方に言っておきたいことがあります。それは定年退職しても何かやれることを考えておくべきだということです。わたしは休みの日を使ってお茶の免状を取って、退職後10年間教えていました。人に教えたり接したりすることで、気持ちも若くなりますよ。

■健康法でお互いを刺激
だれでも、健康について自分の意見を持っていると思います。だから、老人会などで自分の健康について、集まった人に話してみたらいいと思います。そういう経験がさらなる健康生活の元になるのではないですか。「わたしの健康法はこうだー」って胸を張れば、もっともっと元気になっていきますよ。せっかくだから、敬老の日にもそういう機会を設けてみたらどうですか。

いろいろやっていますね。これは健康にもとてもよいことだと思いますよ。



左のバーコードから犯罪発生などの緊急情報をお知らせする「ひろつか安心・安全メール」に登録できます

我が家の庭から広がるまちづくり

まちづくりY²(わいわい)塾に参加しませんか



昨年のわいわい塾。玉崎先生の話をお聞きみなさん

花や緑はわたしたちの生活に潤いを与えてくれます。公園や道路の植栽に咲く花に心なごむ経験をした方は多いのではないのでしょうか。また、緑はときとして人同士が交流するきっかけにもなります。

まちづくりを我が家から
緑を通して人が集い、ふれあうまちづくり。そんなまちづくりを身近なわが家の庭から考える「まちづくりわいわい塾」を開きます。NHK「趣味の園芸」などで活躍している玉崎弘志さん

んを講師に迎え、花や緑の基礎知識から庭づくり実習、花や緑がもたらすまちへの効果などを学びます。

▽日時
・1日目 10月9日(木)午後2時～4時
・2日目 10月16日(木)午前10時～午後3時
・3日目 10月23日(木)午後2時～4時

▽会場 教育会館ほか
▽定員 40人(先着順)
お申し込みは、住所、氏名、電話番号を電話、はがき、ファクス、またはメールで「まちづくり政策課」(〒254-8686 浅間町9-1-1 FAX 23-9467・machis@city.hiratsuka.kanagawa.jp)へ。

駅周辺地区の整備事業を評価

みなさんのご意見を伺います

平塚市では、平成16年度から5年間の計画で、国のまちづくり交付金制度を活用し、平塚駅周辺地区の活性化を目指して様々な事業を実施しました。主な事業として、旧横浜ゴム平塚製

職員・嘱託員・臨時職員を募集します

詳しい内容は、各担当課にお問い合わせるか、市のウェブサイトをご覧ください。

○幼稚園教諭(1人)
▷試験日 10月19日(日)午前9時30分開始
▷応募方法 教育総務課や公民館などにある受験申込書(平塚市ウェブサイトからダウンロードすることもできます)を本人が直接提出してください
▷受け付け日時/場所 9月25日(木)～28日(日)午前9時～午後5時/豊原分庁舎1号館1階会議室 ※土・日曜日も受け付けます
☎ 教育総務課(☎35-8113)

①保健師嘱託員(2人)②歯科衛生士嘱託員(1人)③保育士嘱託員(1人)
④管理栄養士嘱託員(1人)⑤保育園給食調理・用務作業嘱託員(1人)
▷試験日時 10月15日(水)午前9時30分開始
▷応募方法 職員課や公民館などにある受験申込書(平塚市ウェブサイトからダウンロードすることもできます)を9月16日(火)～30日(火)に本人が直接同課へ
☎ 職員課(☎21-8762)

①看護師(25人程度)②助産師(5人程度)③薬剤師嘱託員(2人)
▷試験日 ①②は11月9日(日)、③は応募受け付け後連絡します
▷応募方法 病院総務課にある受験申込書を①②は10月30日(木)までに、③は随時同課へ
☎ 病院総務課(☎32-0015)

①保健師臨時職員②管理栄養士臨時職員③歯科衛生士臨時職員
※各若干名
▷応募方法 履歴書を本人が直接高齢福祉課へ
☎ 高齢福祉課(☎21-8778)

猫の不妊・去勢手術

補助金制度をご利用ください

平塚市では昨年、生後3か月以上の飼い猫の不妊・去勢手術に対する補助金制度を制定しました。

10月1日から、この補助金額や補助回数を増やします。また、野良猫に対する不妊・去勢手術も新たに対象に加えます。どうぞ、ご利用ください。

▽利用対象者
市内にお住まいで市税な

どの滞納がない方
・補助回数 同一年度に1世帯5匹まで
▽補助金額
・不妊手術 メス1匹500円
・去勢手術 オス1匹300円
※手術は県内の動物病院で受け付けてください。
お申し込みは、環境政策課(市役所4階)や公民館な



策課(☎21-9762)へ。

造所記念館移築復原事業、紅谷町まちかど広場整備事業などが挙げられます。

今回、これらの事業の成果と今後のまちづくりの方針を原案としてまとめました。この原案に対する市民のみなさんのご意見を伺います。

▽原案の閲覧場所
市役所4階まちづくり事業課、市役所1階市政情報コーナー、駅前市民窓口センター、公民館、図書館など
※平塚市ウェブサイトからもご覧いただけます
▽意見の送付先 みなさんのご意見(書式は問いません)と住所、氏名、電話番号を郵送、ファクス、またはメールでまちづくり事業

課(〒254-8686 浅間町9-1-1 FAX 23-9467・machis@city.hiratsuka.kanagawa.jp)へ。

▽募集期限 10月14日(火)まで
▽結果の公表 12月下旬にまちづくり事業課、市政情報課へ

まちづくり探偵団に参加しませんか
探偵手帳に書かれた「なぞ」を解きながら、東海道五十三次平塚宿の史跡を親子で巡ります。JUNOにご参加ください。

▽日時 10月14日(火)午後1時～4時30分
▽見学場所 東海道五十三次平塚宿史跡の神社やお寺、石碑など
▽集合・解散場所 崇善公民館
▽対象 市内にお住まいの小学校3年生～6年生とその保護者(小学生のみの参加はできません)

▽定員 20組(先着順)
お申し込みは、住所、参加者全員の氏名、年齢、電話番号を電話、ファクス、またはメールで「まちづくり政策課」(☎21-8781・FAX 23-9467・machis@city.hiratsuka.kanagawa.jp)へ。

9月納期の市税・手数料

- 固定資産税 (第3期)
- 国民健康保険税 (第4期)
- 介護保険料 (第4期)
- 清掃し尿従量手数料 (第6期)
- 清掃し尿ごみ定額手数料 (第2期)

◆納期最終日 9月30日(火)

納付には、安心して便利な口座振替をご利用ください。
☎ 市税総務課(☎21-8769)

平塚市文化財団設立10周年記念事業

市民と豪華キャストの夢の共演

市民オペラ カルメン

▷日時 12月21日(日)午後3時開演
▷会場 市民センター
▷合唱 平塚市民オペラ合唱団、平塚ジュニアコール、東海大学教養学部芸術学科学生
▷管弦楽 平塚市民オペラオーケストラ
▷入場料 一般6,000円 学生4,000円 ※全席自由
▷チケット 9月17日(水)から市民センター、山野楽器平塚ラスカ店、ヨネザワ楽器で販売
☎ 文化財団(☎32-2237)

湘南ベルマーレ 9月23日(祝)

ホームタウンデー

市内にお住まい、お勤め、通学の方に特別優待チケットを当日販売

▷日時 9月23日(祝)午後5時キックオフ
▷会場 平塚競技場
▷対戦相手 ベガルタ仙台
▷入場料 大人1,000円 小・中学生、高校生、65歳以上の方300円
▷販売場所 平塚競技場正面入り口横、総合公園内ふん水横
※購入の際には、市内にお住まい、お勤め、通学である証明書をお持ちください
☎ 総合公園管理事務所(☎35-2233)

安全は 心と時間の ゆとりから
9月21日(日)～30日(火) 秋の全国交通安全運動
◆問い合わせ先 暮らし安全課(内線2640)

「シートベルトとチャイルドシートを必ず付ける」「夕暮れ時と夜間の交通事故を防ぐ」「飲酒運転を根絶する」「二輪車、自転車の交通事故を防ぐ」を重点目標に秋の全国交通安全運動を実施します。秋は日没時間が日に日に早まります。ライトを早めに点灯し、安全運転を心がけましょう。

百年前に「食育」の大切さを説いた偉人をしのんで 村井弦斎まつり

10月4日(土)
午前10時～午後3時



食道楽のレシピを再現

平塚市食生活改善推進団体
副会長 奥山重子さん

1904年から1927年に亡くなるまで平塚に住んでいた村井弦斎は、明治から昭和初期にかけて、数々の小説を残しました。中でも、ベストセラーとなった『食道楽』では、各種料理のレシピ、栄養学的な効用、当時としては珍しい西洋野菜や香辛料などを紹介しています。その内容は読み物として面白いだけでなく、実用書としても楽しめます。

まつり当日は、小説「食道楽」の中で紹介されている「鮎のフェタス」を再現、試食していただきます。家庭でも簡単に作れるレシピもお渡しします。季節の物をおいしくいただく弦斎料理をお楽しみください。

数々の功績を残した弦斎をしのび、村井弦斎まつりを開催します。

▽会場 村井弦斎公園(八重咲町22-5・弦斎通り沿い)

▽主な内容

- 弦斎書店 村井弦斎の作品(原本展示、紹介と販売)
- 茶席 一服100円(茶菓菓子がなくなら次第終了)
- 琴や尺八の演奏 平塚三曲連盟による演奏
- 弦斎料理教室 再現料理「鮎のフェタス」の試食

ほかに写真パネル展や弦斎にちなんだグルメリクイズ、おたのしみ抽選会、イチゴあめのかみ取り、ヨーヨー釣りなどのイベントを用意しています。

お問い合わせは、**社会教育課**(☎35-8130)へ。

大相撲高砂部屋 がやってくる

会場 総合公園内相撲場

大相撲高砂部屋の力士たちが今年も平塚にやってきました。普段目にする事のない、迫力あるぶつかりげいを間近でご覧ください。子どもたちが力士に挑むわんぱく相撲やちゃんこ試食会もあります。

公開朝稽古

▷日時 10月7日(火)・8日(水)
午前8時～10時

ふれあいわんぱく相撲

▷日時 10月7日(火)午前10時～10時15分

ちゃんこ試食会(先着100人)

▷日時 10月7日(火)午前10時30分 ※整理券を当日会場でお配りします

園 総合公園管理事務所 (☎35-2233)



ファームフェスタin湘南ひらつか 畜産共進会を見学しませんか

県内1位の乳牛飼育頭数と酪農家を誇る平塚市。畜産業が盛んな平塚の畜産農家が手塩にかけて育てた乳牛や肉豚の品評会を開きます。また、乳しぼりの実演やバター作り体験などのイベントもあります。

▽日時 9月30日(火)午前10時～午後3時
※雨天決行

▽会場 総合公園多目的広場

- ▽主な内容
- 乳牛、肉豚の品評会
- 乳しぼりの実演
- 乳しぼり疑似体験

- バター作り体験
- 園芸用たい肥の無料配布(先着3000人)
- 子牛ふれあいコーナー
- 畜産紹介コーナー
- 畜産用資材の展示

お問い合わせは、**農水産課**(☎35-8102)へ。

日ごろの活動成果を発表します 市民活動センターまつり

市内で活動する市民活動団体が集まり、日ごろの活動成果の紹介などをします。市民活動の情報を得て、参加のきっかけになるよい機会です。どうぞ、ご来場ください。

▽日時 9月28日(日)午前10時～午後4時

▽会場 市民活動センター

- ▽主な内容
- 体験・実演 絵本の読み語り、おもちゃの修理、フラワーアレンジメント、パ

- ソコンを使った名刺づくり
- パフォーマンス ギターの弾き語り、応急手当講習会、手話ダンス、人形劇、紙芝居など
- バザー 海外の食品・商品・フェアトレード品などの販売、模擬店
- 相談会 介護、耐震補強、成年後見制度、相続、遺言、パソコンなど

お問い合わせは、**ひらつか市民活動センター**(☎21-7517)へ。



市長コラム

まちひとと語り語り

市長
大藏 律子

文化振興に新たな一手

みなさんは囲碁を打ったことがありますか？ わたしはまだ初心者ですが、よく九路盤を楽しんでいます。碁盤上で巡らせる人間の想像力にはコンピュータも敵が立たないといわれている囲碁。最近では、子どもたちの人格形成やお年寄りの認知症予防などへの効果も期待されています。平塚には、囲碁の歴史に名を刻んだ故木谷實九段の道場がありました。数多くの有名

棋士を育てた道場の志を受け継ぎ、「囲碁のまち」としての息づかいを次世代に伝えていくことは、わたしたちの役割だと思っています。この思いを形にしたのが、来月全国で初めて開催する「囲碁サミット」です。囲碁にゆかりのある自治体と交流を深めるとともに、平塚から日本の囲碁文化発展に向けた「誓い」を発信できることをとても楽しみにしています。サミット開催を機に、囲碁をはじめとする様々な文化振興に向けた新たな一手を考えていきたいと思っています。

【次回の市長コラムは12月15日号】



農家自慢の牛や豚を間近でご覧ください

湘南百番寄席 in 市民センター

▷日時 11月29日(土)午後5時開演
▷会場 市民センター
▷出演 春風亭柳朝、柳亭こみち
▷入場料 2,500円(当日券は2,800円)
※全席自由
▷チケット 10月1日(水)午前10時から市民センターで販売

園 文化財団(☎32-2237)



柳亭こみち

湘南潮来 ハゼ釣り大会

豪華商品が盛りだくさん

- ▷日時 9月23日(祝)午前8時～午後2時
※荒天の場合は28日(日)に延期
- ▷会場 湘南潮来(相模川の馬入橋から下流のエリア)
- ▷参加方法 開催当日午前8時～10時に所定の申込書を持って直接開催本部(須賀港の朝霧河畔緑地内)へ ※中学生以下の方は保護者の同意書が必要です
- ▷申込書配布場所 はせ川釣具店、下島釣具店、浦田ボート店、片倉ボートマリーナ、上州屋(平塚店・平塚八幡店)ほか



平成19年度はすべて基準値以下でした

ダイオキシン類調査結果

◆問い合わせ先 環境保全課(☎21-9764)

市内の大気環境中ダイオキシン類濃度の調査結果がまとまりました。いずれの地点でも、年平均値は環境基準0.6pg-TEQ/m³以下でした。

- ▷調査方法 環境省の大気環境調査マニュアルに基づき市内3か所で年4回実施
- ▷調査地点/結果(年平均値、単位はpg-TEQ/m³) 神田小学校/0.044、岡崎小学校/0.036、市役所/0.046

わたしたちのセカンドライフ

人生を、毎日を、いきいきと

奥さんのひとこと
 定年退職して5年たちます。現役時代は音楽関係の仕事をしていました。これが忙しくてね。土・日は関係ないし、作業が深夜・明け方まで及ぶことも多かったですね。そのころは、まったくの仕事人間でしたから、家庭でのコミュニケーションという意味ではほとんど役割を果たしていませんでした。定年退職を迎えてしばらくは、新しい仕事もなかなか見つからず家でブラブラしていました。そんな時、妻から地域のことでやってみたらという地域のことや「町内福祉村」の立ち上げが始まるのとちがしが入ってきたのです。これだと思いつき、ワークショップに参加しました。実は、このワークショップの中でわたしが一番若かったので、議事進行を任せられました。そんな中で、地域の方々と

バリバリの仕事人間が地域にデビュー
 川邊暉郎さん 65歳(ふじみ野一丁目)
 少ずつ交流する機会が増えてきました。積極的に家事を分担していくことでストレスをためないようになっています。あとはお互いが好きなことをしようということ、わたしは家庭菜園を、妻は園芸を楽しんでいます。地域の活動にも夫婦で取り組んでいいます。でも、お互いに無理せず、自分のできることを楽しみながらやっています。いいよと思えば、きつと無理をしても、きつと

あじさつで地域デビュー
 いろいろなボランティア活動を始めて、地域での人間関係の基本は「あいさつ」にあるというところが分かってきました。小学生の見守り活動のときなどにあいさつを繰り返して、ときには地域の言葉が返ってくることもありました。それがわたくしにとっての大きな喜びや励みになっています。
 ※町内福祉村についてのお問い合わせは福祉総務課(内線2151)へ



川邊暉郎さん 65歳(ふじみ野一丁目)

充実した「第二の人生」を送るには
 人間の寿命は延び、「定年退職」人生の終盤といった認識は過去のものとなりつつあります。自由になる時間が増えるこの時期からこそ、もっと人生を楽しむための第二の人生「セカンドライフ」が始まるのです。今回は、趣味や地域活動などを通して充実した毎を送る方々を紹介します。みなさんの活動の参考にすることを願っています。

今年1月1日現在、平塚市に住む60歳以上の方の数は、総人口の約27%にあたる約6万9000人です。そして、今年は新たに約4500人の方が60歳の節目を迎えます。



小学生の「見守り」活動 登校班について一緒に歩く川邊さん



アマチュア無線で世界中と交信する後沢さん

市民活動にチャレンジ
 市内の企業を退職後、あるきっかけで市民活動に参加するようになった。一時は四つくらの活動にかかわっていたが、かな？でも、合う合わないがありますからね。けんかしてやめたりしてね。そのうち、自分が最も共感できたのがNALC(ナールクニッポン・アクティブライフ・クラブ)の活動でした。NALCは会員が2万5千人もいる全国組織のNPOで、全国に100以上の拠点がありま

自分に合ったことを
 趣味も山登りやアマチュア無線などいろいろと楽しんでいますが、山には中学生のころから登っています。今でも早起して天気がいいとすぐに登りに行ってしまいます。わたしにとって、散歩みたいなものですね。これから退職を迎える人にアドバイスするとすれば、趣味でも何でも、あせらずにいろいろ

あ、始めましょ
 退職後とはかく外に出ていかなって、社会との接点がなくならないように、自治会でも市民活動でも、何でもいからしつかりとパイプを持つていないと、どんな視野が狭くなってしまうんですか。
 9月27日に市民活動センターまつりがあります。たくさん市民活動団体が一堂に集まるので、何か始めてみたいと迷っているのだったら出かけてみてはどうですか。何か道が開けるかもしれませんよ。
 ※「市民活動センターまつり」の案内は3面に掲載しています



趣味のフラダンスを楽しむ川口さん

趣味と社会貢献を両立させて
 川口 優子さん 65歳(長持)
 「生きがい事業団に登録してみた」と誘われて、思いきって登録してみたのです。今は、事業団から紹介されたお年寄りの介護や、身の回りのお世話をしています。以前施設で身体障がい者の方たちにお茶やコーヒを入れてあげるようなボランティア活動をやっていた経験が生かされています。これまで元気に働いてくることができました。だから今度は自分が人の役に立つて恩返しができるように、自分が家にもついていたらだめになってしまうということもあります。

フラダンスに夢中
 友人に勧められて始めたフラダンスを、趣味としてずっと続けています。公民館で仲間と練習している。いろいろな場所で発表されています。老人ホームなどで踊って、お年寄りに楽しんでもらうこともあります。フラダンスは年齢に関係なく始められます。80歳を過ぎた方も始められます。きれいなドレスを着てみんなで踊るのは、とても楽しいです。
 平塚競輪場に35年間勤めて、今年の3月に定年退職しました。これからの人生をどう歩んでいこうかと考えたとき、自分の趣味や生活の合間に、それが困っている人の助けになればいいかなと思ってきました。そんなとき友人から、

社会へ恩返しを
 今は、事業団から紹介されたお年寄りの介護や、身の回りのお世話をしています。以前施設で身体障がい者の方たちにお茶やコーヒを入れてあげるようなボランティア活動をやっていた経験が生かされています。これまで元気に働いてくることができました。だから今度は自分が人の役に立つて恩返しができるように、自分が家にもついていたらだめになってしまうということもあります。

3平塚市生きがい事業団 ☎33-1233
 生きがい事業団には、地域や社会に役立つ仕事で、生きがいとしてこなしながら、多彩な趣味を楽しんでいる方が大勢います。みなさんもわたしたちと一緒に活動してみませんか。

何事にも興味を持ってチャレンジ!
 後沢忠夫さん 67歳(寺田縄)



退職後とはかく外に出ていかなって、社会との接点がなくならないように、自治会でも市民活動でも、何でもいからしつかりとパイプを持つていないと、どんな視野が狭くなってしまうんですか。
 9月27日に市民活動センターまつりがあります。たくさん市民活動団体が一堂に集まるので、何か始めてみたいと迷っているのだったら出かけてみてはどうですか。何か道が開けるかもしれませんよ。
 ※「市民活動センターまつり」の案内は3面に掲載しています

育児相談

生活リズムを整えるポイント

- 朝の光をしっかり浴びさせる
- 外で元気に遊ばせる
- 強い光を受けさせない
- 入眠儀式を見つける
- 夜眠るときは部屋を暗くして

保健センター ☎55-2111

9月19日(金) 午後1時~4時、市役所市民ホール/相続、債権債務、成年後見、法人設立、許認可申請、在留資格
 10月4日(土) 午前10時~午後3時30分、市民センター/登記一般、相続、成年後見、多重債務
 10月7日(火) 午後1時30分~4時30分、市役所市民相談室/遺言、相続、金銭消費貸借、借地借家/予約制
 10月8日(水) 午後1時30分~4時、ひらつか市民活動センター/借金、交通事故、土地建物、近所迷惑、離婚、遺産相続
 10月14日(火) 午前10時~午後4時、市役所市民ホール/各種年金、労務管理、健保・厚生・労災・雇用保険

あなたの手紙 郵送料負担の手紙 公民館などにあります。

市民相談

市民相談室 (市役所1階) ☎21-8764

- 多重重債務(予約制) 10月14日(火) 13時~16時
- 行政 10月6日(月) 13時~16時 毎週水・木曜日、13時~16時
- 登記・供託(予約制) 10月10日(金) 13時~16時
- 土地境界・測量 10月10日(金) 13時~16時
- 住宅(新・改築) 9月16日(火)・10月21日(火) 13時~16時
- 発明・特許 11月10日(月) 10時~12時・13時~15時
- 下請取引 10月20日(月) 13時30分~16時
- 年金・社会保険・労災 10月14日(火) 10時~16時
- 税務(予約制) 10月3日(金) 13時~16時
- 不動産 9月19日(金)・10月17日(金) 13時~16時
- 建築設計・耐震・バリアフリー 10月20日(月) 13時~16時
- 外国籍 9時~12時・13時~16時

女性のための相談 (市役所東側隣接庁舎2階・人権・男女共同参画課) ☎21-9611

来所 9月16日(火)・10月7日(火) 13時~16時

保健福祉総合相談 (市役所南側隣接庁舎1階) ☎21-8779

来所・電話 毎週月~金曜日、8時30分~17時

健康相談 (保健センター) ☎55-2111

来所(生活習慣病の予防や食事・運動による改善相談。予約制) 毎週月~金曜日、8時30分~17時

福祉会館 ☎33-2333

法律(予約制) 10月14日(火) 13時30分~15時30分

生活支援 毎週月~金曜日

子育て支援センター (豊田分庁舎) ☎34-9076

子育ての相談・情報提供 毎週月~金曜日、9時30分~16時

こどもの総合相談 (市役所1階、こども家庭課) ☎23-1111・内線2744

こども総合相談 毎週月~金曜日、8時30分~17時

家庭児童相談室 毎週月~金曜日、9時~16時

母子相談室 毎週月~金曜日、9時~15時45分

療育相談室 (福祉事業センター) ☎32-2738

子どもの発達相談(来所・予約制) 毎週月~金曜日、10時~15時

障がいがある方の相談 (市役所南側隣接庁舎1階・障がい福祉課) ☎21-8774

手話案内(☎35-5770) 毎週金曜日、9時~12時30分

精神保健福祉(予約制) 毎週月~金曜日、9時30分~16時

健康福祉

老後のための万全対策講演会に参加を

▽日時 10月9日(木)午後1時30分～3時30分

▽会場 平塚栗原ホーム

▽テーマ 自分で決めたい、老後のための万全対策

▽講師 町村智康さん(弁護士)

▽対象 市内にお住まい、お勤めの方

▽定員 50人(先着順)

お申し込みは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。

転倒骨折予防教室に参加しませんか

▽日時 ①10月24日～12月5日の毎週金曜日、午前10時～正午②10月21日～12月2日の毎週火曜日、午後2時～4時

▽会場 ①ニチイ学館平塚第2教室(宝町一)②ニチイ学館

チイケアセンター湘南神田(大神1777)
▽対象 市内にお住まい、お勤めの65歳以上で、介護認定を受けていない方

▽定員 各15人(先着順)

▽申し込み先 ①ニチイケアセンター平塚(☎25-625)②ニチイケアセンター湘南神田(☎51-4561)

▽申し込み先 各公民館
お問い合わせは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。

保健センターの健康教室にご参加を

市内にお住まい、お勤めの方を対象に開きます。どうぞ、ご参加ください。

会場は①は勤労会館②③は保健センターです。

高齢者いきいき生活料理教室を開きます

高齢者向けの栄養バランスのとれた食事を実際に作って食べる料理教室です。

▽期日・会場 10月15日(水) 城島公民館、16日(木)土屋公民館、22日(水)旭北公民館、23日(木)松が丘公民館、29日(水)南原公民館、31日(金)崇善公民館

▽開催時間 午前10時～午後1時

▽対象 市内にお住まい、お勤めの65歳以上の方

▽定員 各20人(先着順)

▽参加費 300円

▽持ち物 エプロン、三角布、ふきん

▽持ち物 エプロン、三角布
お問い合わせは、①②③は電話で、④は往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、保健センター(〒254-0082 東豊田4-4-3 ☎55-2111)へ。

小学校入学前の健康診断を実施します

平成21年4月に市内の小学校に入学するお子さんを対象に、入学前の健康診断を実施します。

該当するご家庭には、10月上旬に通知書を送付します。通知書が届かない方や、外国籍のお子さんで入学を希望する方は、お問い合わせください。

お問い合わせは、学務課(☎35-8118)へ。

健康推進員の健康教室を開きます

①くすのき体操講習会
②ウォーキング講習会

▽日時 ①10月3日(金)午後1時30分～3時②10月7日(火)午後1時30分～3時

▽会場 ①神田公民館②旭南公民館

▽講師 ①村田節子さん(健康運動指導士)②橋高靖子さん(スポーツプログラマー)

▽持ち物 室内履き、タオル、バスタオル、飲み物など

お問い合わせは、保健センター(☎55-2111)へ。

日赤救急法基礎講習会を開きます

AED(自動体外式除細動器)の操作や心肺蘇生法などを学びます。

※検定試験あり

▽日時 10月5日(日)正午

午後4時
▽会場 中央公民館
▽対象 15歳以上の方(中学生は除く)

▽定員 20人(抽選)

▽教材費 1500円

お申し込みは、はがきに住所、氏名、電話番号、生年月日を記入し、9月24日(水)までに福祉総務課(内線2671)へ。

介護者家族の交流教室を開きます

▽日時 10月4日(土)午前10時～午後1時

▽会場 医療生協かながわ平塚診療所アイサービスマン代官町20-20

▽対象 市内にお住まい、お勤めで家族の介護をしている方

▽内容 看護師による健康チェック、フラワーアレンジメント、体脂肪率・推定骨量の検査など

▽定員 15人(先着順)

▽参加費 1800円

▽申し込み先 平塚診療所(☎21-2764)

※会場で介護が必要な方はお申し出ください

お問い合わせは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。

ボランティアスクールにご参加を

ボランティア活動の基礎的な知識と活動を学びます。

▽日時 10月7日～10月24日の火・金曜日、午後1時30分～3時30分、全6回

▽会場 福祉会館

▽対象 ボランティアを始めたようとしている方

▽定員 40人(先着順)

お申し込みは、ボランティアセンター(☎33-23

33)へ。
録音図書作成技術の指導講習会を開きます。

▽日時 10月7日～11月11日の毎週火曜日、午後1時～3時30分

▽会場 福祉会館

▽定員 20人(先着順)

▽教材費 1000円

お申し込みは、ボランティアセンター(☎33-2333)へ。

市民公開講座にご参加ください

「C型肝炎、あなたの肝臓は大丈夫」と題して、医師がC型肝炎の医療費助成制度や最新の治療法の話をしていきます。

▽日時 9月27日(土)午後2時～4時

▽会場 平塚プレジール(八重咲町3-8 JA平塚ビル)

お問い合わせは、保健センター(☎55-2111)へ。

10月10日は目の愛護デーです

目の愛護デーにあわせて、目の健康教室を開きます。

▽日時 10月5日(日)午後1時～2時/目の健康講座・午後2時～4時/目の健康相談

▽会場 平塚プレジール(八重咲町3-8 JA平塚ビル)

▽内容

・目の健康講座 加齢黄斑変性に関する講話

・目の健康相談 眼科医による無料相談

お問い合わせは、保健センター(☎55-2111)へ。

ポリオ(小児まひ)生ワクチン予防接種

ポリオ生ワクチンの予防接種を実施します。受け付け時間内に、直接会場へお越しください。
※お車でお越しの方は、保健センターまたは総合体育館をご利用ください。

日程と会場

日程	会場
9月29日(月)	保健センター
10月1日(水)	総合体育館
6日(月)	なぎさふれあいセンター
10日(金)	神田公民館
15日(水)	金田公民館
20日(月)	金目公民館
23日(木)	旭南公民館
28日(火)	保健センター
31日(金)	総合体育館

▷受け付け時間 午後1時30分～2時30分
▷対象 生後3か月～7歳6か月未満のお子さん
※接種できないお子さん
・体温が37.5℃以上ある
・下痢をしている
・直前に受けた予防接種や、特定疾患が治ってから一定期間経過していない
▷持ち物 母子健康手帳、体温計、筆記用具、予診票、室内履き(総合体育館はスリッパ不可)
☎ 保健センター(☎55-2111)

お問い合わせは、保健センター(☎55-2111)へ。

お問い合わせは、保健センター(☎55-2111)へ。

お問い合わせは、保健センター(☎55-2111)へ。

次世代に伝えたい 食育のススメ

第6話 地元産食材で食卓に彩りを

平塚市の食料自給率は県内でもトップクラス。コメ、キュウリ、ネギの収穫量は県内1位で、シラスの産地としても有名です。地元で採れた食材を地元で消費する「地産地消」の推進は、地域の食文化への

親しみを増し、自給率アップにもつながります。新鮮で安心できる地元産の農作物や魚介類で、毎日の食卓を彩ってみてはいかがでしょうか。
地産地消を心がければ
◆生産者の顔が見えて安心・安全
◆旬の新鮮食材が手に入る
◆輸送エネルギーの削減で、環境に優しい
◆地域経済の活性化、地域への愛着が増す
◆健康課(☎55-2111)



安心・安全まちづくり

はい!こちら110番です

第6報 ルールとマナーを守って 自転車事故防止

運転意識の改善で自転車事故はもっと減ります。平塚市内で今年1月からの半年間に発生した自転車事故は247件で、前年同期比を64件(21%)下回りました。ただ、交通事故全体に占める割合は28.9%と依然として高く、県内平均(22.7%)を大きく上回っています。中でも、夕暮れ時や出会い頭の事故が多発しているほか、高齢者による事故が全体の約18%(前年比6%増)を占めている状



況です。
今月21日から10日間は、「秋の全国交通安全運動」の実施期間。平塚警察署でも、交通取り締りの強化などを通して、高齢者の安全対策や自転車運転中の事故防止などに取り組みます。
この機会に交通ルールやマナーを再確認して、事故を未然に防ぎましょう。
◆平塚警察署生活安全課(☎31-0110)

家庭菜園でトマト、キュウリを栽培しているみなさんへ
収穫を終えたトマト、キュウリの株を処分してください
◆問い合わせ先 農水産課(☎35-8102)

葉が黄色くなり、縁が巻き上がる「トマト黄化葉巻病」や、葉にはん点が出たり黄色くなったりする「キュウリ黄化えそ病」にご注意ください。放置すると地域全体へまん延するおそれがあります。発病した株は治りません。抜き取って土中に埋めるか、ビニール袋で密閉して枯らすなどの処置をお願いします。

情報館

◆臥龍桜日本画大賞展を平塚市美術館で

平塚市の友好都市、岐阜県高山市で毎年開かれていた、全国公募による日本画の展覧会を美術館アトギヤラリーで開きます。

▽会期 9月30日(火)～10月5日(日)午前9時30分～午後5時 ※月曜日は休館
お問い合わせは、文化・交流課(☎25-2500)へ。

◆企業合同就職面接会にご参加ください

求人企業の人事担当者との就職面接会を開きます。企業説明だけでも参加できます。就職相談コーナーも同時開催します。

▽日時 10月10日(金)午後1時～4時 ※受け付けは午後3時30分まで
▽会場 平塚商工会議所(松風町2-10)
▽対象 市内または近隣にお住まいの方(高校生は除く)

▽参加方法 産業振興課などにある申込書と面接希望者は履歴書を持って直接会場へ

※申込書は、平塚市のウェブサイトにダウンロードすることもできます

お問い合わせは、産業振興課(☎21-9758)へ。

◆働く女性のためのキャリア開発講座にご参加を

▽日時 10月4日、18日の土曜日、午後1時～4時30分
▽会場 勤労会館
▽内容 講演と実演研修
▽講師 竹崎かずみさん(NPO法人アサートイブジャパン認定トレーナー)

▽募集人数 30人(先着順)
▽テキスト代 1000円
※未就学児の保育申し込みは9月26日(金)まで
お申し込みは、はがき、ファクスまたはメールで住所、氏名(ふりがな)、電話番号を、人権・男女共同参画課(〒254-8686浅間町9-1・FAX21-9736)へ。
info@city.hiratsuka.kanagawa.jp・内線2-177へ。

◆本の読み語り講習会を開きます

▽日時 10月22日(水)・23日(木)午前10時～正午
▽会場 中央図書館
▽対象 市内にお住まいの方
▽定員 30人(抽選)

お申し込みは、往復はがき住所、氏名、電話番号、講座名を記入して9月22日(月)までに中央図書館(〒254-0411浅間町12-41・☎31-0415)へ。

◆市民センターの文化サロンを利用しませんか

平成21年4月～9月の利用申し込みを受け付けます。

▽利用資格 市内で活動する会員が10人以上の教養・芸術・生活文化サークル

▽利用料 午前9時～午後0時30分・1300円/午後1時～5時・1500円/午後5時30分～9時30分・1800円

▽申し込み方法 9月17日(水)から25日(木)に文化・交流課(☎32-2235)へ
※22日(月)と24日(水)は休館
◆明るい選挙を進める標語を募集します

▽募集部門 一般の部(1人3点まで)・中学生の部(1人1点)

▽対象 市内にお住まい、お勤めまたは通学している方
▽応募方法 はがきに住所、住所、氏名、年齢、電話番号、職業(学校名を記入して、10月31日(金)までに選挙管理委員会事務局(〒254-8686浅間町9-1)へ
お問い合わせは、選挙管理委員会事務局(☎21-8795)へ。

◆緑の基本計画改訂を話し合う市民委員を募集します

▽対象 次の①～④を満たす方
①市内にお住まい、お勤め、通学または市内で市民活動をしている
②18歳以上70歳以下(高校生は除く)
③平日に開く会議に出席できる
④本市の審議会などの委員ではない

▽募集人数 3人(抽選)
▽任期 委嘱日から改定案策定まで

お申し込みは、郵送、ファクス、またはメールで住所、氏名、年齢、電話番号、性別、「平塚のみどり」に関する2000字程度のご意見をみどり公園・水辺課(〒254-8686浅間町9-1・FAX23-9467・info@madori.city.hiratsuka.kanagawa.jp・内線2425)へ。

みんなで広げよう環境の環

積極的に環境活動に取り組む「環境ファンクラブ」のみなさんをご紹介します

第6回 平塚の地域エネルギーを考える

NPO法人ひらつかエネルギーカフェ
代表 大嶋朝香さん



地球温暖化を食い止めるには、毎日の暮らしを支えるエネルギーを見直すことが大切です。風力や太陽光、バイオ燃料といった自然エネルギーへの転換を進め、省エネ型ライフスタイル実践の輪を広げましょう。

ひらつかエネルギーカフェでは、電気やガスに関する疑問や省エネ対策などについて、情報交換したり相談会を開いたりしています。

代官町にある喫茶店も兼ねた活動拠点の「カフェ」では、再生可能な自然エネルギーの利用方法などを学ぶサロンも開催。お茶を飲みながら市民感覚で地球温暖化を考えるエネルギーカフェを気軽にのぞいてみてください。

◆環境政策課(☎21-9762)

◆地方卸売市場運営審議会委員を募集します
▽対象 次の①～④を満たす方
①市内に1年以上お住まい
②20歳以上75歳以下
③平日に開く会議に出席できる
④本市の審議会などの委員ではない

◆不登校生徒や中退者のための進路説明会を開きます
▽日時 9月27日(土)午後1時～4時30分
▽会場 県平塚合同庁舎(西八幡二丁目3-1)
お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆9月20日～26日は動物愛護週間です

どんなに小さな動物も命ある生き物です。動物を愛する気持ちや、ペットの正しい飼育方法などを家族で話し合ってみてください。

お問い合わせは、環境政策課(☎21-9762)へ。

◆平成21・22年度入札資格認定申請を受け付けます
市が実施する競争入札に参加するための資格申請を、インターネット上の「かながわ電子入札共同システム」で受け付けます。

▽申請期間 10月1日(水)～11月28日(金)
▽資格の有効期間 平成21年4月1日～平成23年3月31日
お問い合わせは、契約検査課(☎21-8780)へ。

◆東海大学交流事業「ピアノ教室」参加者募集
▽日時 10月25日～平成21年3月21日の土曜日、午前9時30分～午後0時30分、全10回
▽会場 東海大学湘南校舎(北金目1-17)
▽講師 芸術学科レナノ講師
▽対象 大学生以上の方
▽定員/受講料 Aコース(個人レッスン・中級者)：24人(先着順)/3万円、Bコース(グループレッスン・初心者)：30人(先着順)/2万5000円
お申し込みは、東海大学エクステンションセンター(☎03-5793-7113)へ。

◆建築基準法による中間検査の実施期間を延長します
現在、階数が2階以上または延べ面積が50平方メートルを超える新築住宅などを対象

に、中間検査を実施しています。この中間検査の実施期間を平成23年9月30日まで延長します。

お問い合わせは、建築指導課(☎21-9732)へ。

◆住宅・土地統計調査を実施します
10月1日、全国一斉に住宅・土地統計調査を実施します。調査結果は、国や県市が都市計画などを策定する際の資料となります。対象世帯には、調査員が調査票を持って伺います。

お問い合わせは、企画課(☎21-8797)へ。

お問い合わせは、環境政策課(☎21-9762)へ。

お問い合わせは、契約検査課(☎21-8780)へ。

お問い合わせは、建築指導課(☎21-9732)へ。

貸し出していま～す

広報ビデオ

★ビデオの一覧は市のウェブサイト「平塚発 メディア情報」→「広報ビデオ」

おすすめビデオ紹介

「HIRATSUKAヒトビトMAP ⑬」(平成20年制作)

様々な分野で活躍する「人」を紹介する番組。本の楽しさを子どもたちに伝える図書ボランティアの諸山朝子さん(右写真)と、平塚の風景を「平塚百景」として描いた今村信夫さんを紹介しています。

☎ 広報・情報政策課(☎21-8761)



平塚の歴史や文化、人物、行政課題などをテーマにしたテレビ番組を、SCN(湘南ケーブルネットワーク)で放送しています。また、これまでに制作した番組のビデオなどを図書館や広報・情報政策課で貸し出しています。ご利用ください。

広報ひらつかの有料広告主を募集しています

広報ひらつか9月15日号の1部当たりの印刷単価は6円97銭です。そのうちの約11%にあたる75銭を広告収入で賄っています。

広報紙への広告掲載のお問い合わせは、広報・情報政策課(☎21-8761)へ。

耐震・高齢者・障害者住宅の新築・リフォームは、有資格者へお任せ下さい!!

高年齢・障害者向住宅改修工事登録店



- 福祉住環境コーディネーター
- 管工事施工管理技士
- 上下水道指定工事店
- 土木施工管理技士
- 建築施工管理技士
- 電気工事士

高年齢・障害者住宅の施工例

大成商事株式会社 TEL 0463-58-3812

FAX 58-7080 平塚市広川 671 連絡担当 原田 正代

赤ちゃんの健康メモ

10月のカレンダー

会場・問い合わせ先は保健センターです。母子健康手帳を忘れずに。

母親父親教室

これから母親、父親になる方の教室です。

【前期 妊娠6か月までの方】

- 6日(月) 午後1時30分～3時15分 歯の衛生・妊娠中の過ごし方
- 27日(月) 午前10時30分～午後2時 調理実習で学ぶ妊娠中と産後の栄養(予約制)

【後期 妊娠8か月以降の方】

- 24日(金) 午後1時30分～3時15分 お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法。祖父祖母教室も開催
- 31日(金) 午後1時30分～3時30分 赤ちゃんのおふる【プレパ&ママクッキング教室】
- 11日(土) 午前10時30分～正午 大人の食事と離乳食の調理実習・試食

子育て相談

【妊婦・新生児の訪問相談】

ご自宅で、妊娠中の健康管理や新生児に関する相談をお受けします(予約制)。

【育児相談】

生活、歯の衛生、食事の相談。

◇受け付け 毎週水曜日午

前9時30分～10時30分

【にこにこ相談】

生活、食事の相談。

◇受け付け 10日(金)・29日(水) 午後1時30分～3時

乳幼児の健康診査

【乳児個別健康診査】

医療機関へ直接お申し込みください。実施医療機関の一覧表は保健センターでお配りしています。

◇4か月児対象

(満4か月～5か月未満)

◇8～10か月児対象

(満8か月～11か月未満)

【幼児集団健康診査】

受診日の1週間前までに案内通知を送ります。受け付け時間は午後1時～2時です。

◇対象 1歳6か月のお子さん(1歳7か月になる月が対象)

●実施日 7日・14日・21日(火)

◇対象 3歳のお子さん(3歳2か月になる月が対象)

●実施日 2日・9日・16日(木)

【歯科健康診査】

歯の健康診査やフッ素体

験塗布・相談など(予約制)。



横山詩香ちゃん
平成20年5月20日生まれ
(袖ヶ浜)

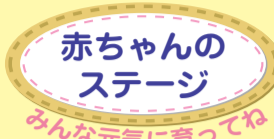


吉村心美ちゃん
平成19年10月13日生まれ
(めぐみが丘二丁目)



川久保純凧ちゃん
平成19年11月10日生まれ
(十屋)

▶応募方法 写真に赤ちゃんの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・電話番号を記入し、広報ひらつか「赤ちゃんのステージ」係(〒254-8686 浅間町9-1)へ



▶対象 市内にお住まいの1歳未満(掲載時)の赤ちゃん
▶締め切り 前月の20日(応募多数の場合は抽選)。
★今回の応募は26人でした。



中山由渚ちゃん
平成19年10月23日生まれ
(纏)



嶋津尊々ちゃん
平成19年10月22日生まれ
(紅合町)



村井煌柁ちゃん
平成19年10月4日生まれ
(南原二丁目)

★応募写真は平塚市ウェブサイトの「広報ひらつか」のページでも紹介します。デジタル写真の応募も同サイトをご利用ください

◇2歳1か月～2歳6か月児対象

● 8日(水) 午後1時30分～2時30分

● 23日(木) 午前9時30分～10時30分

◇離乳食の教室

離乳食の進め方など成長に合わせたコースです。1週間前までにご予約ください。

【ごっくん離乳食教室】

● 5～6か月児対象、30日(木) 午後1時30分～2時40分

【もぐもぐ離乳食教室】

● 7～8か月児対象、3日(金) 17日(金) 午後1時30分～3時

【カミカミ離乳食教室】

● 9～12か月児対象、9日(木) 午前10時30分～11時30分

【離乳食卒業教室】

● 1歳1か月～1歳6か月児対象、28日(火) 午前10時30分～11時30分

分～11時30分

子育て教室

お子さんと一緒に学べる体験教室です(予約制)。

【のびのびキッズ2歳児教室】

● 楽しい食事と好き嫌い 10日(金) 午前10時30分～11時30分

【すくすく子育て教室】

5～6か月児が対象。育児や遊び方など。「ブックスタート」事業を同時開催。

● 15日(水) 午後1時30分～3時30分

【歯っぴい教室】

12か月～1歳3か月児が対象。歯の手入れなど。

● 7日(火) 午前10時～11時

【おっぱい教室】

妊娠8か月以降の方と生後5か月までのお子さんがいる方へ。母乳分泌、授乳方法など。

● 3日(金) 午前10時30分～11時45分

保健センター

休日・夜間急患診療所

東豊田448-3 ☎55-2111

バス 平塚駅北口から「下島・大島」由田村車庫行きまたは「平間・大島」由伊勢原駅南口行き、「湘南車検場前」下車、大人片道230円

メールで答える離乳食相談室

www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kenko/kodomo-soudan-mail.htm



ひらつかスケッチブック

9月 コスモスの咲く川の堤

毎年秋風が吹き始めるころ、相模川のほとり、国道1号に架かる馬入橋の上流にコスモスの花畑が現れます。「馬入・光と風の花つづみ」と名付けられたこの花畑。平塚の新しい観光スポットとして、ちょっとしたにぎわいを見せています。

相模川の土手の改修工事に伴い、この花畑が誕生したのは平成9年のこと。以来、花畑は多くの市民の力で支えられてきました。毎日のように花の手入れをしてくれるボランティアスタッフ、地元自治会のみなさん、そして近隣の小学校の子どもたち。雨や風にも負けず、コスモスが可憐な花を咲かせるのは、たくさんの人たちの深い愛情が込められているからかもしれません。

コスモスの見ごろは間もなく、10月上旬から下旬ごろまでですが、今年は気の早い花がもう、ちらほらと咲き始めています。

まだ訪れたことがないのなら、この機会にぜひ、足を運んでみてください。きっとお気に入りの場所になるはずです。

file#18 魚屋さん

ちょっと海まで

Let's find the enjoyment of the sea.



馬入橋を渡るボテイ(昭和元年)

須賀のボテイ

みなさんは魚が食べたいとき、どこで買っていますか？今はスーパーマーケットで買う方が多いと思いますが、昔は近所の魚屋さんでした。でも、これもさほど古いことではありません。店舗を構えた魚屋さんが増えるのは戦後に

なってきたので、それ以前は商人から買っていました。明治時代の須賀(現在の港地区)には、魚の行商人が200人もいました。行商人は「ボテイ」や「ボテフリ」と呼ばれ、須賀のボテイが魚を売りさばいた先は、平塚周辺はもちろんのこと、東は戸塚や瀬谷、北は相模原・津久井から青梅・大月までと広範囲に及びました。相模湾には、小田原市小八幡や茅ヶ崎市南湖などにも魚行商人がいましたが、須賀ほど広い取引圏を持つていた漁港はありませんでした。それは、北に相模平野が広がり、天秤で魚籠を担いで歩くのに都合良かったからです。ボテイはたいへん足が速く、

「須賀の頓狂は鳥より早い、鳥が一町飛ばば八町飛ば」といわれていました。急ぐときは厚木まで1時間で駆けて行ったといわれています。ボテイが商売先でおもしろおかしく語った「須賀の頓狂話」が各地に伝わっています。機知に富んだ軽妙な語り口で、巧みに商売を進めました。

昭和に入ると、自転車を使った行商が増え、戦後は得意先に店舗を獲得する人も出てきました。だから相模川流域には、須賀出身の魚屋さんが案外多いのです。

◆担当 博物館 ☎33-5111



自転車での魚行商(昭和52年)